

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 24.8.23 第 180 回国会第 6 号

8 月 23 日（木）第 6 回の委員会が開かれました。

- 1 公職選挙法及び衆議院議員選挙区画定審議会設置法の一部を改正する法律案（樽床伸二君外 9 名提出、衆法第 22 号）
・提出者逢坂誠二君（民主）及び樽床伸二君（民主）並びに政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

後藤 祐一君（民主）

- ・本改正案の理念及び目指す方向性について法案提出者の見解を伺いたい。
- ・平成の大合併により、2 以上の小選挙区にわたる市区町が生じるようになったが、今回の区割り改定の際に市町村合併によって影響を受けた小選挙区の調整は行わないのか、法案提出者の所見を伺いたい。
- ・本改正案の成立後、衆議院議員選挙区画定審議会はどのような段取りで区割り改定案を作成するのか。また、区割り改定案の勧告を受けて提出されるいわゆる区割り法の周知期間はどの程度必要か、総務省の所見を伺いたい。
- ・本改正案においては、選挙制度改革に関する検討について、衆議院議員の定数を 400 人とすることとして、次回の総選挙後に選挙制度審議会において選挙制度の検討を 1 年以内に行い結論を得ることとしているが、選挙制度審議会は定数 400 人を前提として検討しなければならないのか、法案提出者の見解を伺いたい。